



【スポ協だより】

スポーツひた

第6号

2022年12月発行

発行/日田市スポーツ協会

日田市上城内町2番6号

(中央公民館内)

Tel・Fax 0973-24-2202

3年ぶりの大分県民スポーツ大会(第75回)が久大地区で開催

＝総合第5位

剣道、カヌーが優勝＝



総合開会式/日田市選手団入場(日田市総合体育館) 選手宣誓(日田市卓球:平島昇選手/右)

大分県民スポーツ大会を終えて

新型コロナウイルス感染症の影響で、3年振りの大会となった第75回大分県民スポーツ大会(今年度より県民体育大会が名称変更)は、久大ブロック(日田・玖珠)会場を中心として9月10日(土)～12日(月)を主日程に開催されました。

10日(土)に日田市総合体育館で行われた総合開会式では、17郡市の役員・選手約240人が、郷土の一村一品を掲げて入場しました。地元開催の日田市選手団は郡市最後に焼酎を掲げて行進しました。

今大会は、コロナ禍で厳しい練習環境やチーム編成に苦勞する競技が続出する中、日田市は32競技526名の選手団を送り、選手たちは熱戦を繰り広げました。

しかしながら、総合成績は第5位で終わり、前大会の3位から順位を落とす結果となりました。

そのような中、剣道は2大会連続11回目の優勝、カヌーが7大会ぶり2回目の優勝を飾ったのははじめ、準優勝にウエイトリフティング、バドミントン、バレーボール、アーチェリーが、そして第3位に陸上競技とテニスが入り健闘しました。

28日(水)の解団式では、役員と各競技団体が今大会を振り返るとともに来年度の躍進を誓いました。

大会ができる喜びと地元の声援を受けての選手の活躍、本当にお疲れ様でした。

また、地元皆さんの応援ありがとうございました。



軟式野球(平野球場)



ソフトボール(天瀬総合グラウンド)



空手道(三隈中学校体育館)



グラウンド・ゴルフ(萩尾公園自由広場)



フェンシング(中城体育館)



アーチェリー(日田市アーチェリー場)

【総合成績】

- ①大分
- ②別府
- ③中津
- ④佐伯
- ⑤日田
- ⑥宇佐
- ⑦臼杵
- ⑧国東市・郡
- ⑨豊後高田
- ⑩速見
- ⑪由布
- ⑫杵築
- ⑬玖珠
- ⑭津久見
- ⑮豊後大野
- ⑯竹田

- ☆A 部優勝 大分市
- ☆B 部優勝 宇佐市
- ☆C 部優勝 国東市・国東郡
- ★躍進1位 玖珠郡



卓球 (日田市総合体育館)



ボート (三隈川特設会場)



ボウリング (日田アストロホール)



自転車/ロード (田来原美しい森づくり公園内特設コース)



クレイ射撃 (玖珠クレイ射撃場)



『湧きあがれ スポーツの力 久大の地より』
大会スローガン作成者: 園田 恭一郎 (日田市)

第2期 スポーツ推進計画を決定

日田市は、「日田市スポーツ振興計画 後期計画」の計画期間満了に伴い、令和4(2022)年度から令和9(2027)年度の6年間を計画期間とした、「第2期 日田市スポーツ推進計画」を策定しました。

この計画では、誰もがスポーツに携わることで、スポーツの持つ力をスポーツの推進だけにとどまらず、地域の活性化に結び付けていくことを目的に策定し、基本理念を「する」「みる」「ささえる」スポーツの力で地域を笑顔にとしています。

主な目標と施策、指標は次のとおり。

【基本目標と施策】

- 1 「する」 スポーツ実施率の向上
 - ・参加しやすい環境の創出とイベント情報などの発信、軽スポーツ用具貸出の継続・充実など
- 2 「する」「みる」競技スポーツの推進
 - ・競技力向上のための各種支援継続
 - ・各種大会の開催や成績などを、関係団体と連携し、市民への情報発信
 - ・行政とスポーツ関係団体との連携・協働を推進するため、情報共有、意見交換会の実施
- 3 「する」「みる」スポーツによる交流人口の増加
 - ・市外からの参加・利用を促す取組の実施、全国的なイベントの開催など
- 4 「ささえる」 施設利用の向上
 - ・施設計画の基づく管理、適切な施設整備や維持管理など
- 5 「ささえる」 スポーツボランティアの推進
 - ・登録制によるボランティアの確保と参画の創出及び各団体間の連携・組織化の推進など

《目標指標》

項目	現状値	R5 目標	R9 目標
成人週1回以上の実施率	R3 39.3%	48.0%	65.0%
全国大会出場者	R2 46人	310人	350人
県民大会の成績	R元 3位	3位以内	3位以内
スポーツ施設(公共のみ)の利用者	R2 250,523人	470,000人	510,000人
スポーツイベントの参加者数	R2 1,691人	5,320人	5,500人
スポーツボランティア(職員除く)	R2 386人	850人	850人

令和4年度 スポーツ医科学研修講座開催

十一月十五日(火)、市役所大会議室で「スポーツ医科学研修講座」が開かれ、スポーツ関係者など九六名が聴講しました。
スポーツ選手に必要な外傷・障害予防からパフォーマンス向上まで、幅広い講演内容を、講師の大分市大場整形外科理学療法士で、アスレティックトレーナーである牧健一郎先生が、パワーポイントを使い症例を交えて講義。また、受講生の事前の質問にも答えながら、傷害予防、アップ前のパフォーマンス向上のためのストレッチを実践指導しました。



講演する牧健一郎先生



ストレッチの実践指導

RICE処置「外傷を受けた時の応急処置法」も講演から、RICE(安静)に安静にすることによって傷害がさらに悪くならないようにする。
●冷(冷却) 氷で冷やすと血管が一時的に収縮し、血流量が減少するため内出血をくい止めることができる。
●圧迫(SPRESSION) 圧迫をすることによって、血流量が減少するため内出血をくい止めることができる。
●挙上(ELEVATION) 心臓よりも損傷を受けた部位を高くすることによって多くの血液が流れていかなないようにすることができるため内出血をくい止めることができる。

招へいスポーツイベントのお知らせ

- 【令和5年度】
- ツール・ド・九州 2023…国際大会
- 【令和6年度】
- 第78回国民スポーツ大会(旧国体) 佐賀大会
 - ・自転車ロードレース競技(会場:オートポリス)
- 全国高等学校総合体育大会(北部九州4県で開催)
 - ・自転車ロードレース、バレーボール